DIC建材事業部

防虫不燃化粧板を開発

3ミリ厚の不燃単色塗装化粧板も

DIC建材事業部の建材マーケティング部では、3年前からオリジナル建材商品の開発、販売に力を入れている。現在もキッチンや住設機器メーカーのOEMを行っているが、自社ブランド建材商品の営業展開を強化する目的で、建築・建材展に出展。従来からカラーガイドの色見本は有名だが、強度技術などによる一貫生産も可能なことから、不燃建材を商品化。

DICフネンソリッドカラーの6ミリタイプのほか、新商品として3ミリの不燃単色塗装化粧板を発売。6ミリ同様42色を揃え、耐汚染性や耐水、耐久性などの機能を持つ・高精度のコーティング技術で表面加工や帯電防止に優れている。

また、虫を寄せ付けない新機能を追加した不燃化粧板「DICフネンムシテクト」も新発売した。基材のケイ酸カルシウム板に、下張り紙、エナメルコートを施し、その上に最表層を配合してクリアコートで仕上げた製品。食品などに直接ふれても水に溶けず、人体に対して安全性が極めて高い成分を使用。従来のウレタン塗装化粧板と同等の表面性能がある。ムシテクトも42色のレギュラー商品をそろえ、特注色に対しては、フネンソリッドカラー3ミリとともに対応できる。

非住宅の店舗や業務用厨房壁面、飲食店や食品工場からトイレ内装、病院、デイサービスやデイケアなど、福祉関連施設の用途に向いている。

オリジナル商品を展示。自社ブランド品の販売に力を入れている

フォーレスト

EDS加工の新製品販売

製材品の反りや割れ等を緩和

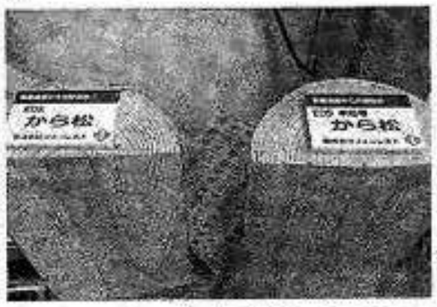
フォーレスト（東京都、都丸真喜翔社長）は、新技術EDS加工を用いた製品の製造、販売を開始した。

EDS加工とは原木をプラントで高温加工する素材成長方法のことで、製材品の反りや割れ、曲がり、ヤニなどが緩和されるほか、強度向上や防虫、防力工場によって調達され、前橋市のプラントで加工が施される。

主な製品はナラの高強度、軽量化によって作られるウッドデッキ材「キング・フォーレスト」、都丸真喜翔社長の他者種は同社と協松間伐材の曲がり、伸び効果が得られる新技術・杉、カラ松など樹種木問なうえ、オイルバームの改質も可能となる。開発はEDS研究所所長石井幸男氏。同氏とライセンス契約を交わすことで同社製品の製造販売実現に至った。

現在は群馬3、新潟1の計4社と提携を結び製造を開始。群馬県産カラ松原木は同社、その他者種は同社と協松間伐材の曲がり、伸び効果が得られる新技術・杉、カラ松など樹種木問なうえ、オイルバームの改質も可能となる。開発はEDS研究所所長石井幸男氏。同氏とライセンス契約を交わすことで同社製品の製造販売実現に至った。

現在は群馬3、新潟1の計4社と提携を結び製造を開始。群馬県産カラ松原木は同社、その他者種は同社と協松間伐材の曲がり、伸び効果が得られる新技術・杉、カラ松など樹種木問なうえ、オイルバームの改質も可能となる。開発はEDS研究所所長石井幸男氏。同氏とライセンス契約を交わすことで同社製品の製造販売実現に至った。



カラ松の加工前（右）と加工後（左）

東電工業

軽くて強い断熱モルタル

型枠代替のパネルタイプも

東京電力の100%子会社で、発電所のメンテナンスを手掛ける東電工業（東京都、松村勝社長）は、発電所のタンク向けに開発した断熱モルタル「カルダンモルタル」を、一般の建築物向けにも販売している。

ベースとなる早強セメントと水に、軽量な骨材と起泡材を混ぜて作る特殊なモルタル。水に浮く軽量性と強さ、高い断熱性能と不燃性、耐水性を実現。左官方式での施工のほか、吹き付け工法もできる。

型枠用金型とモルタルパネルの間に高強コンクリートを流し込む

型枠代替パネルタイプとして使えば内断熱にも適用できる。

熱伝導率は0・10、0・13、0・16W／m・kの3タイプ。一番高断熱のタイプは、品確法の躯体部における床上面の断熱補強工法の大臣認定を取得している。マンションなどで床が直張りの時は床の下に敷く断熱材に強度が必要で、脆くて強く、ひび割れのないカルダンモルタルが適している。比重は0・40、0・55、0・65と3タイプすべて軽量で建物に負担をかけない点も特徴だ。

今回の建築・建材展では、高強度を生かして開発した、コンクリート打ち込み用の型枠代替パネルも初披露し、注目を集めた。

建物の基礎や外壁に、コンクリートを打ち込む際、外側の型枠用合板の代替として用いることも可能。型枠用合板とモルタルパネルで通常どおり型枠を組み立て、同じにコンクリートを流し込む。固まったら合板だけ剥がし、モルタルパネルはそのまま断熱材として残す。合板の解体や廃棄処分、断熱、仕上げ工事などが省略できるため、工期が短縮される利点がある。今後、物件の医面に応じてサイズ、量の受注を受け、約1カ月で納品する形で、販売を進める方針。

★ る健康住宅として差別化を図りたいビルダーなどからの採用も増えているという。

なお、商品は無色透明で、むらになることもない。汚れが付きにくくなる効果もある。施工費用は、5250円（税込み、平方㍍）。問い合わせは、センワールドインペーテイブ（電話03・3403・5126）まで。エアープロットの取扱店も募集している。

麦わらボードに高い関心

初日に1300人以上が来場

PBH

パネルボードルティング（＝PBH、オランダ、クライン・リーンダッタ）のOSSB（配向性麦わらストランドボード）が建築・建材展に出展され、多方面からの注目を集めた。1日で1300組以上が来場し、「初日だけで用意した資料が足りなくなった」とOSSBの可能性に高い興味が示された。

OSSBは、中国で麦わらを原料に昨年11月から製造を始めた新たなボードで、既に中国では軽量鉄骨ハウスの面材として本格的な販売が始まっている。日本でも神奈川県藤沢市に事務所を設けて、3×6、4×8判の9、12㎜のボード約500枚を在庫し、サンプル出荷を始めている。

建築基準法第37条認定取得を目指し、構造用面材としての販売を計画しているが、建築・建材展で、構造用途だけでなく様々な分野からの高い関心が寄せられていることが分かった。家具の芯材、MDFとの複合化、印刷関係など様々な基材としての需要がありそうだ。

予想以上の来場者の対応に追われる場面もあり、今後、本格供給が期待されている。

予想を超す来場者があった

高品質で価格競争力に優れる

兼松日産農林

セキュリティ監視機器を出品

サムスン電子（韓国）のセキュリティ監視機器の正規販売代理店、兼松日産農林（東京都、高崎貴社長）は、建築・建材展と同時開催されたセキュリティ・安全管理総合展に、CCTVシステム部として映像セキュリティの高性能機種を出展した。

サムスン電子は世界的なメーカーで、セキュリティ監視機器でも世界市場で存在価値を示している。「サムスンのセキュリティ監視機器の最大の特徴は、高品質でありながら価格競争力に優れ、国内メーカーしかも高性能という。具体的には、ほとんどストロボフォーマンスの高さが評価されていること」（高崎社長）・同規模のカメラ数や水平解像度レベル、DVR、モニターなどの映像監視システムと比べて値格競争力が出せ、水平解像度レベルに優れ、分離性能という。

従来は防犯や内部監視目的が多かったが、兼松日産農林では「木造ルートの工場や物流倉庫、分譲住宅地全体や関連会社へも安全・安心のため設備化を働きかけたい・映像監視カメラやシステムは、マンションなどの住宅にも優れている。

また日本での普及度が低く、年間8%程度の成長が10年間は期待できる、との報告もある」（高崎社長）。

兼松日産農林では、CCTVシステム部は会社全体の売り上げの7～8%程度だが、会期ベースでCCTVシステム部を年間20億円規模にしたいと話る。

サムスン電子のセキュリティ監視機器